

お米



錦町議会だより



2025.NO

153



令和の米騒動を聞こう!!

目次

- ・「お米のこと」 農家さんにインタビュー・・・2・3
- ・あさざり町議会との意見交換会・・・3
- ・第1回定例会・・・4・5
- ・一般質問一覧・・・5・6
- ・一般質問・・・7～13
- ・議会のうごき・研修報告・・・14

特集1

「お米のこと聞きたい！」
農家さんにインタビューしました。



森 崇幸さん
(西大正・51歳)

Q1・昨年から今年にかけての米騒動をどう思うか？

J A・仲卸業者それぞれのいろんな事情があると思うが農家としては、高価格はうれししい。しかし米の高騰が続いても消費者の米離れが心配。

Q2・米の価格についてどう考えるか？

米の価格は、昨年の収穫はじ

めに少し上がった後、徐々に高くなった。消費者には農家の事情も考慮していただき5キロ3千円から3千5百円位が妥当ではないか。

Q3・今後の米作りをどう考えているか？

作付けは昨年と余り変わらない。先代からの土地・設備・農機があるから頑張っていくしかない。農家の高齢化もあるので、耕作面積は減少になる。また、後継者がいないのも心配だ。

Q4・これからの課題は？

農家としては、昨年の価格くらいは欲しい。また、農機械の価格高騰も心配。稲刈り乾燥等委託業者が減っていることも気になる。

今後、農業委員会の農作業の受託料の見直しを検討してほしい。



木野 竜也さん
(一武中原・35歳)

Q1・昨年から今年にかけての米騒動をどう思うか？

コメの価格がまともな価格になってきた。これから先、米栽培が苦痛にならないと考えるが、消費者・政治家の発言ばかりが報道され、農家は無視に近い印象を持つ。安い時には何も言わず、高くなると文句を言うのはおかしい。

Q2・米の価格についてどう考えるか？

なんでも値上がりする中、農家を継続していくには今までが異常

に安すぎた（農家にもお金が必要だ）。

Q3・今後の米作りをどう考えているか？

若い農業者が少なくなり、土地が回ってくるが、家族経営では手が回らない。今後、雇用面と効率化、機械化等を考えなければと思う。

Q4・これからの課題は？

趣味的に取り組むこと、無駄な仕事をしないこと、新しいものは常に取り入れていくこと、また、人を大事にしていくことも肝要であると考えている。





守屋 研一さん

(木上野間・62歳)

Q1・昨年から今年にかけての米騒動をどう思うか？

コメ販売自由化により、JA以外の業者にコメが流れているのは。JA以外のコメ業者が増加している。

Q2・米の価格についてどう考えるか？

消費者が毎日食べてくれることを前提に考えると、5キロ2千5

インタビューへのご協力
ありがとうございました

※3人の年齢は取材当時

百円〜3千円程、30キロ1万5千円〜1万8千円程度が適正ではないか。

4年前は30キロ、6千820円から考えると現在は適正価格。

反当たり収穫計算で8俵を基に作業経費を計算すると、8〜9万円掛かる。

Q3・今後の米作りをどう考えているか？

個人的には、年齢的に70才までは現状の作付け面積を維持したい。拡大は考えていない。

Q4・これからの課題は？

買取価格が下がると、誰もコメを作らないかもしれない。作付け面積も減少するかもしれない。現在の価格は維持して欲しい。概算金制度は維持してもらいたい。

特集2

あさぎり町議会との意見交換会
―両町の課題共有 町の発展を目指して―

両議会は4月24日、錦町役場大会議室で初の意見交換会を開き、出席した町議25人は今後の町発展に向けて議会運営や各委員会の取り組み、町づくり等について話し合いました。

以前から懇親会を定期的に開いていましたが、コロナ感染症の影響で中断。両議長の間で「懇親会だけでなく意見交換の場を設けては」との話から実現しました。

意見交換会では、錦町議会から「通年議会を導入されているがメリットは」と質問し、あさぎり町議会は、「常に議会が開けるメリットがあり住民に対して議会の役割を果たせている」と答え、あさぎり町議会からは「町長選と町議選の同日選挙に至るまでの経緯は」と質問があり、「農繁期の選挙は避けてほしいという住民の声を受け、全議員の英断で実現できた」と説明し費用削減等の効果があっ

たと報告しました。

その他、読みたくなる広報紙、県立高校と行政の連携などについて活発に意見を交換しました。

今後も、県南振興を担う立場の両議会として定期的開催、意見交換会を実施します。

(文書 早田)



令和7年

第2回

定例会

補正予算（一般会計）6,671万2千円を可決

L P ガス価格高騰対応生活者支援事業補助金、農業振興に係る各補助金など

令和7年第2回定例会は、6月10日から13日までの4日間の日程で行われ、令和7年度各会計補正予算5件のほか、条例改正等7件（議員発議1件含む）、人事案件1件などが上程され、慎重審議の結果、いずれも原案のとおり可決した。その他、請願1件が上程され、厚生文教経済常任委員会（竹田委員長）に付託した結果、継続審査となった。

今回の一般質問には、7人が登壇し、執行部の考えを質した。

なお、本定例会で広報特別委員の補充選任が行われた。（各常任委員会、議会運営委員会と併せ、新たな議会構成については、14ページに掲載。）

条例改正等

- ① 錦町職員の育児休業等に関する条例及び錦町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例
育児休業等に関する法律の改正により、職員の仕事と育児の両立支援制度の拡充が図られたため、所要の改正を行うもの。
- ② 錦町給水条例の一部を改正する条例
災害復旧における業者確保のため、他の市町村長が指定した業者であっても給水・排水設備を復旧できるよう改めるもの。
- ③ 錦町下水道条例の一部を改正する条例
災害復旧における業者確保のため、他の市町村長が指定した業者であっても給水・排水設備を復旧できるよう改めるもの。
- ④ 錦町川辺川総合土地改良事業推進協議会設置条例を廃止する条例
特別職の職員で非常勤のもの、報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
国営川辺川事業が完了したことにより、協議会設置条例の廃止と委員の報酬について、所要の改正を行うもの。
- ⑤ 錦町議会の個人情報保護に関する条例の一部を改正する条例
（議員発議）

- ⑥ 行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正に伴い、本条例に引用する条文の改正など所要の改正を行うもの。
- ⑦ 特別職の職員で非常勤のもの、報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律の改正に伴い、所要の改正を行うもの。
- ⑧ 令和7年度錦町立学校学習者用コンピュータ購入
品名等
タブレット端末（1,078台）
取得金額
61,068,700円
契約の相手方
福岡市中央区大名2丁目9番27号
株式会社内田洋行九州支店
- ⑨ 契約
町道松里永野線（黒辺田野橋）
橋梁下部工工事請負変更契約について
契約金額
変更前 124,556,438円
変更後 124,242,663円
契約の相手方

人事案件

- ① 錦町固定資産評価審査委員会委員の選任の承認について
住所 錦町大字木上北
1759番地3
氏名 守屋 節郎

報告

- ① 令和6年度錦町一般会計繰越明許費繰越計算書
- ② 和解及び損害賠償額の決定について

第3回臨時会

令和7年5月13日に行われ、令和6年度各会計補正予算等の専決処分4件、条例改正1件、令和7年度一般会計の補正予算1件、契約2件、財産の取得2件、人事案件1件、報告1件が上程され、原案のとおり可決した。

なお、令和7年度一般会計の補正（60万円）は、一丸開田送水管修繕に係る補助金。

条例改正（専決処分）

- ① 錦町税条例の一部を改正する条例
地方税法等の一部改正に伴い改正するもの。

契約

① 町道松里永野線（黒辺田野橋）橋梁上部工事請負契約について

契約金額

81,290,000円

契約の相手方

福岡県北九州市若松区大字安瀬62番地3

松田建設工業株式会社

② 町道松里永野線（黒辺田野橋）橋梁下部工事請負変更契約について

契約金額

変更前 122,100,000円

変更後 124,556,438円

契約の相手方

錦町大字一武2745番地2

株式会社イトウ建設

財産の取得

① 消防積載車の購入

品名等

消防小型動力ポンプ軽積載車

（4台）

取得金額

15,840,000円

契約の相手方

熊本市中央区菅原町1番地25

三輝物産株式会社

② ブロードバンド機器（OLT機器）増設

品名等

ブロードバンド機器（OLT機器）一式

取得金額

業務委託料 23,650,000円

のうち、22,341,000円

契約の相手方

人吉市鬼木町759番地1
イクストライド株式会社

人事案件

① 固定資産評価員の選任について

住所 錦町大字西868番地1

氏名 岩尾 和文

報告

① 和解及び損害賠償額の決定について



消防小型動力ポンプ軽積載車

令和7年第2回錦町議会定例会一般質問一覧

議員名	質問事項	質問の要旨
丸小野議員 (P7)	過去の質問より 錦町の医療について	① 医療給付費の推移（国保）とその要因について。 ② 後期高齢者医療費について。 ③ 特定健診について。
	たばこ税と葉たばこ農家について	① 葉たばこ農家の現状。 ② たばこ税の現状と用途について。
	基金の運用について	① 基金の現状（管理）。 ② 基金の安全性について。
石松議員 (P8)	農業ごみと生活ごみに関する問題について	① 錦町におけるごみ処理の流れ、運営、管理体制はどのようになっているのか。 ② クリーンプラザでのごみ処理の流れは。 ③ 錦町のごみ収集量と処理費用は。 ④ 資源ごみの収集量と収益の推移と運営の流れは。 ⑤ 農業用廃棄物の処理と焼却炉導入への支援の考えは。
	農業振興について	① 水田政策の見直しの方向性について。 ② 水田活用直接支払交付金の見直しについて。 ③ 畑地化した水田の交付金はどのように変わるのか。また、今後町としては水田政策をどのように進めるのか。 ④ 地域計画の策定と農地の現状と課題は。 ④利用されない農地の現状は。 ⑤策定にあたり、木上・西・一武の集積率は。 ⑥耕作者を確保できない農地は。 ⑦錦町として地域の農業を今後どのように進めるのか。

議員名	質問事項	質問の要旨
早田議員 (P9)	桑原家住宅の改修とタイ捨流の文化財指定について	① 住宅改修計画の状況は。 ② タイ捨流の文化財指定は可能か。 ③ 桑原家住宅付近を活動の拠点としたいとの意向があるが、管理を任せることは可能か。
	幸野溝の農業用水について	① 農業用水が不足しているとの声がある。 ② 平成9年から平成16年にかけて水路等の改修が行われたが、全て完了しているのか。 ③ 堤防ため池の目的は、農業用水として利用できるのか。 ④ 永続的に用水確保をするため、新規にため池を建設できないか。
	上下水道料金の見直しが検討されている事について	① 令和8年度に計画されている料金の見直しについて、審議会等の設置は。 ② 町民への周知等の方法は。
吉田議員 (P10)	災害復旧と防災について	① 大平溪谷の災害後の整備計画は。 ② 志戸内川の今後の改修計画は。 ③ 道の駅「錦」が災害時の広域拠点（防災道の駅）に追加認定されたが、どのような拠点となるのか。道の駅は通常営業できるのか。また、施設の改修計画はあるのか。
	「地域を守り支える」について 町民の安心安全について	① 各地域（集落）に祭られているお堂修繕改修に支援の考えは。 ① 物価高騰対策で給付支援の計画はないか。 ② 町道水掘中島線の凹凸に不安があるとの住民の声があるが、補修の予定は。 ③ 2025年6月から熱中症対策が義務化された「労働安全規則」が改正され、事業者は熱中症予防の為、原則付きで義務化（農業者も含む）。周知と罰則は。
谷口議員 (P11)	地域計画、農地利用目標地図の町としての評価について	① 地区ごとの課題はあるか。 ② 支援について、汎用性の高い事業を開設できないか。 ③ 農業委員会として目標地図に合わせた活動の予定は
	美化作業のボランティアグループ組織の支援について	① 住環境面でも公園の整備、美化作業などをボランティアの町民のグループで行う、総務省指定地域活動団体制度を利用したの支援は出来ないか。
	消防団活動への支援について	① 交付金は全て自治体での裁量に任せられているのか。 ② 詰め所について公民館と同程度に支援すべきではないか。
	大平キャンプ場の再開予定について	① 今後の再開、整備の予定について。
金山議員 (P12)	高齢者等の買い物支援について	① 買い物支援としての乗合、高齢者タクシー事業及び買い物モン号の状況について。 ② 同事業に対して停留所、運行日等の要望と課題について。 ③ 高齢者タクシー料金助成対象者に免許証返納者は追加出来ないか。 ④ 町の買い物困窮者は約3割となっているが、今後の支援対策について。
岡田議員 (P13)	地域防災の要である錦町消防団の現状について	① 団員の確保が難しい状況にあるが、町としての考えは。 ② 各分団、部によって団員数の格差があるように見えるが、対応策は。
	農業用水路、排水路の維持管理の現状について	① 用水路、排水路は、大雨時の重要な排水路の役目を果たしているが、農家の減少や高齢化により、年々管理が難しい状況にある。町としての考えは。
	西小学校体育館前の駐車場について	① 西小学校体育館は災害時の避難場所に指定されているが、現在、未舗装のため凹凸ができ、利用者からの要望もある。町としての考えは。 ② 各学校から色々な要望があると思うが、町としてはどう考えているか。

一般質問

今回は7人が登壇
(要約掲載)

町政のここが聞きたい!



錦町の医療について

丸小野 国保の医療給付費の推移は。

1356世帯2326人から、令和6年度は1325世帯2201人となっている。

保険政策課 令和5年度の総額

が9億7918万円、一人当たり42万6000円、令和6年度の総額が8億8179万円、一人当たり40万5000円で推移している。被保険者数は、令和5年度の

丸小野 医療給付費の総額は年間

9739万円減っているが、一人当たりの医療給付費は40万円を超える水準で推移している。要因は。

保険政策課 要因としては、近年の疾病別医療費の上位に糖尿

病、慢性腎不全、高血圧症のいわゆる重症化に繋がりがやすい疾病が入っていることや、精神疾患、悪性新生物、がん、虚血性心疾患等の長期治療及び高額な治療が必要な疾病が入っている事等が要因として考えられる。

丸小野 後期高齢者医療費の現状は。

保険政策課 費用額ベースで、

令和5年度医療費総額が18億1625万円、一人当たり102万円となっており、医療費総額の約6割の10億8443万円が入院費となっている。入院の疾病別では、脳梗塞、心疾患、高血圧の循環器系の疾患が上位に入り、入院外の疾病別受診割合では、高血圧、糖尿病、脳梗塞が県平均を上回っている状況だ。

丸小野 医療費削減の第一歩は特

定検診の受診と考える。現状約65%の受診率を上げて、ある日突然の重症化を避ける事と考える。

たばこ税と葉たばこ農家について

丸小野 直近4年間で、減少傾向

ではある。約1億円のたばこ税が錦町の一般財源に入っているが、葉たばこ農家の現状は。

農林振興課 令和6年の実績は、

戸数16戸、面積約32.3ヘクタール、10アール当たり収量274キロ、54

万5000円であり、売上総代金は税抜き価格で1億7000万円が実績となっている。高齢化や後継者不足はたばこ耕作者も例外なく戸数が減少しており、共乾施設の1戸当たりの経費負担は増加している。

丸小野 葉たばこ農家と意見交換

を数回行い、後継者問題や農業全般の問題等をヒアリングした。人吉・球磨は日本有数の品質の高い葉たばこの産地であり、農業振興の観点からも、一般財源に入るたばこ税の観点からも、葉たばこの高品質を今後も維持向上して行く事は疑う部分はないと考える。



まるおの せいいち 丸小野 聖一 議員

特集

第二回定例会

一般質問一覧

一般質問



たばこは錦町で

農業と生活ごみの問題について



いまつ 石松 まゆこ 議員

石松 私たちが生活していく上で欠かせないごみ問題。広域行政組合へのごみ処理負担金は令和7年度当初予算で1億1642万円である。今、生活ごみ問題と共に農業用廃ポリビニール処理が問題になっている。ラップフィルムを自宅で焼却すると廃棄物処理に関する法律違反となる。国の構造基準適合の焼却炉ならば燃やせるが、焼却炉の値段が高いことや焼却灰が産業廃棄物になるため処分費用がかかるとの声がある。違反を防ぐためにもいくらかの補助ができないか尋ねる。



あさぎり町への移転計画が進むクリーンプラザ

農林振興課 焼却炉についての助成は考えていない。産業貸与基金の活用や支援をしている中央地域廃プラ対策協議会の事業を活用していただきたい。

町長 適正な処分によって環境負担低減に貢献することを考慮すれば、焼却灰の処分については農業用に限らず全体的な支援が必要と考える。

農業振興について

石松 水田活用直接支払交付金の見直しの中で、令和5年から5年に1回の水田水張りをしないう水田は交付対象から外すとされていた。令和9年以降は求めない。令和7年から8年についても交付対象とするとあるがどのように見直されたのか。

れた。高齢化や人口減少により耕作放棄地が拡大し、地域の農地が適切に利用されないのではないかと考える。全国では農地の6割が耕作者不在とされているが錦町の現状は。

農林振興課 担い手が減り、農地が余っていくことは避けられないのが現状である。

農林振興課 交付金を作物ごとの生産性向上支援へと転換が図られたことや特例措置として連作障害を回避する取り組みを行なった場合、水張要件は求めないとする。

石松 農業の生産性を向上させるためには、農地の集約と担い手の確保と考える。錦町として地域農業を今後どのように地域計画の中で進めるのか。

石松 国の水田政策が変わる中で、交付対象水田から外れた農地についても、農業者が不利益にならないよう国の動向を農家に周知して進めてほしい。

農林振興課 農業委員会と協力し、耕作者をマッチングすることや、法人の呼び込み、第三者継承等を図りながら担い手確保を進める。また、大区画化やスマート農業に適した農地とするために、集約を行い、作業効率を高める。特に課題解決に向け随時地域計画の見直しをしながら取り組む。

地域計画について

石松 10年後、集落単位で地域の農地をどう利用していくかまとめた地域計画が錦町でも策定さ

幸野溝の農業用水は、不足しているのでは

耕作者の声がある

早田 私には、以前から幸野溝の用水が不足しているとの声が耕作者から届いているが、行政側には届いているか。

農林振興課 農業用水が不足しているとの声は直接聞いていない。

早田 水土里ネット中球磨のパンフレットによると、下流域では水不足により永年作物や落葉果樹等になっていると書いてあ

る。となると、中球磨土地改良区も幸野溝の水不足は把握されていると思う。耕作者の声は、しっかりと受け止めないといけない。

早田 堤尻ため池の水は、農業用水として利用できないのか。

農林振興課 ため池の水は、新幸野溝と接続している。放水ゲートの操作管理は、中球磨土地改良区と委託契約をしており、必要に応じ開放されているが、山水と雨水のみであるため用水として潤沢ではないのが実情。

早田 永続的な用水確保のため、新規にため池の建設ができたか。

農林振興課 永続的な用水対策には不向きと考える。現在、農村地域防災減災事業、送水管工事を中球磨土地改良区と進めている。

この事業において漏水が解消できれば必然的に用水が増えるのではないかと思う。



新幸野溝錦方面分岐点

令和8年度に計画の、上下水道料金の見直しを検討されている事について

早田 審議会等の設置については。

地域整備課 水道及び下水道料金の見直しについては、水道事業審議会、下水道審議会の両条例で調査審議をいただく予定になっている。

早田 上下水道料金は審議会で検討されるということか。

地域整備課 前回の料金改定から4年目となる本年度に、料金見直しを審議会にて検討する場を設けたいと考えている。近年の物価上昇、光熱費の高騰などを踏まえつつ、現在の経営状況等を加味し安定した事業運営ができるよう十分検討しなければならぬと考える。

早田 一番気になる料金の値上げ幅はどのくらいに。

地域整備課 値上げ幅については、判断できない状況。これまでの、事業運営や将来の維持費、施設の更新等を考慮、検討し設定することになる。上下水道事業の、施設の維持管理、更新などの支出を収入で賄えなくなる場合、それに応じて料金を上げる必要がある。料金の上げ幅については、各審議会にて十分検討し答申いただく予定になる。

早田 前回の周知方法については、十分ではなかったとの声もあった。今回については是非、より丁寧な説明をお願いしたい。



わさだ かずひこ
早田 和彦 議員

特集

第二回定例会

一般質問一覧

一般質問

安心安全な錦町に



よしだ しんじ 議員
吉田 眞二

注意喚起も必要

吉田 大平溪谷災害後の計画は。

企画観光課 国・県において災害復旧工事が断続的に施工されている。工事期間中、一般車両と工事関係車両とのトラブルと事故等を避けるため工事完了まで大平溪谷及び大平キャンプ場の利用を制限している。

吉田 ガードレールが無く危険な箇所もある。工事が終了するまで規制をお願いしたい。この地域にはヤマビルが生息、注意喚起が必要ではないか。

企画観光課 ヤマビル対策に係る注意喚起、今後検討していきたい。

吉田 志戸内川・全線改修の計画はないのか。計画があればいつ頃か。

企画観光課 全体の河川改修計画はない。道路、人家に影響がある部分を重点的に検討し改修を行う。中島地区、山仁田地区は局所的に来年度護岸工事を実施予定である。

吉田 小峰川の改修計画もお願いしたい。

地域を守る

吉田 道の駅錦、災害時の広域拠点防災道の駅に追加認定との報道がある。どのような拠点になるのか。

企画観光課 道の駅錦を含む40か所が追加。現在全国で79箇所が

選定されており熊本県内では、道の駅たのうらに次ぐ2カ所目。自衛隊、警察等の救助活動拠点、緊急物資等の基地機能、復旧復興活動と、広域的な防災拠点機能を持つことになる。

吉田 災害時、道の駅は通常営業できるか。また、改修計画はあるか。

企画観光課 広域的な活動拠点として大部分が占有され通常営業できるか不明で、指定管理者である錦町農産物等出荷協議会と協議が必要と考える。現在、具体的な施設改修の計画はない。防災拠点として整備が必要であれば今後検討していく。

錦に住んでよかった

吉田 各地域集落に祭られているお堂の数と老朽化した建物の支援は。

教育振興課 西地区31カ所・一武地区33カ所・木上地区27カ所、合計91カ所ある。支援については現在考えていない。後世に残すべ

き価値のある建物なら町指定文化財として登録し補修修繕は可能と考える。

錦町でよかった

吉田 物価高騰対策で給付支援、高校生の保護者負担軽減の考えは。

住民福祉課 町独自の新たな給付支援の計画はない。

吉田 低所得者層に手厚くして、子ども食堂、子育て世帯、特に一人親家庭に手厚い支援を要望したい。

町長 私は各町村・自治体でするのでなく国、県がすべき国、県に要望を今後進めていく。

吉田 この町でよかったと言ってもらえるような支援をお願いしたい。



地域を見守るお堂

地域計画・目標地図作成を 受けての農業支援を

谷口 耕作地の交換集約を進めるべきだが、中間管理機構を通して借りていても経営転換協力金の返還義務が生じる可能性があるか。

用性のある補助事業は開設できないか。

農林振興課 大区画化等については、大型の農業機械を効率的に

農林振興課 農地中間管理機構を通しての貸し借りであれば協力金を返還する必要はない。返還対象となるのは、自宅を建てるとか太陽光パネルなどの建設の為に貸借を解消する場合で、その面積分を返還する必要がある。

利用でき、生産コストの大幅な削減が見込まれ、現代の農業において非常に重要な取組の一つとして認識している。所有者の合意形成が必要となるため、農地中間管理機構や農業委員会と連携し、課題を解決しながら推進していく必要がある。

谷口 大型機械や集約で、汎

農業委員会事務局 目標地図を

使った協議の場を設け、作り手が作りやすい農用地の集積・集約化に向けて活動をしていきたい。モデル地区をつくりながら進めていければと考えている。

指定地域共同活動団体制度 を利用した地域活動の支援を。

谷口 指定地域共同活動団体制度というのはどういったものなのか。

企画観光課 指定地域共同活動

団体制度は、令和6年6月の地方自治法一部改正により創設された制度で、地域的な共同活動を行う団体が市町村に申請し、指定地域共同活動団体として指定され、市町村が条例で定める特定地域共同活動を実施することに対し、資金の助成や情報提供など、市町村から支援を受けることができる制度である。

谷口 美化作業等のボランティアにも活用できるものなのか。

企画観光課 地域の環境美化活

動も想定されている。制度導入、運用に当たって条例等の整備が今後必要となる。自治団体においても、指定地域共同活動団体として指定されるためには、総務省令で定める事項等を内容とする定款、

規約等を定める必要があり、団体の組織化についても関係者との合意形成が必要となる。

消防団活動への支援を

谷口 大変運営が苦しいと聞くが、詰所は公民館と同程度に支援をすべきではないか。

総務課 昨年度、各詰所にお

ける維持管理経費の調査を行った。町水道に関しては、全て免除している状態。分団運営費1部当たり4万円となっている。平常時には地域コミュニティの核としての役割も期待されているところであり、その充実強化が強く望まれる、今後も幹部との協議を続けながら消防団活動を支援してまいりたい。



たにぐち かずや
谷口 一也 議員

特集

第二回定例会

一般質問一覧

一般質問



地域コミュニティの核となる詰所

高齢者の買い物困窮支援充実を



かねやま たみゆき
金山 民幸 議員

業対象者に、年間500円のタクシー券24枚を交付している。申請者141人であった。又、買い物モト号は1日15ヶ所で利用者は年間7000人程度である。

金山 乗合タクシー等への利用者からの要望はないか。

金山 高齢者の世帯構成や健康状態交通事情等により、買い物や医療、金融機関等は役場での手続き等に困窮されている高齢者がおられる。町では乗合・高齢者タクシー事業及び買い物モト号等の施策により支援を行っているが、実施状況は。

総務課 乗合タクシー事業については、運行エリアを定め9ヶ所の停留所を設置し運行している。利用者は年間3200人程度である。

保険政策課 高齢者タクシー事

保険政策課 買い物モト号については販売ヶ所要望に対応し、事業者に継続をして頂きたいと考えている。

金山 近年、高齢者のブレーキ等の踏み違いによる交通事故が発生している。交通安全確保等のために免許証返納者が、人吉署管内5市町村で年間180人前後と聞いている。返納により買い物等に支障を来たす状況から、返納者を高齢者タクシー助成対象者に該当させてはどうか。

保険政策課 町民税非課税世帯と規定されているので、制度上、慎重に検討しなければならないと考える。

金山 本町高齢者の買い物困窮者は約3割となっている。今後の支援対策は。

総務課 引き続き利用者の声を聞きながら利便性改善に

努めていく。

保険政策課 買い物モト号及び商工会「あったか便」について、利用者の要望に応え継続できるように周知等を行っていく。

金山 買い物困窮者支援について、町長の考えは。

町長 今回、乗合タクシー事業で停留所増設等経費約13万9千円予算措置をしているので、利便性の増加に考えている。今後も乗合・買い物モト号等の状況を見ながら高齢者の買い物困窮者対策を講じていく。



錦町乗合タクシー

地域防災の要である

消防団の現状は

岡田 団員の確保が大きな問題となっている。現状と対策は。

総務課 条例定数は350名

で、現在、機能別団員を含めて340名であり、ここ数年、10名程度の減少傾向がある。出初式、入退団式等の式典への出場人員も減少傾向にあるが、火災や災害、行方不明者捜索等、有事の際は、過去と遜色なく昼夜を問わず多くの団員に集まって頂いている。

岡田 式典等でみると、特に、二分団、五分団の団員が少なく感

じる。団員の確保は、錦町民の方々の安心安全の確保には不可欠であるため、最重要課題ではないか。

総務課 部によっては、10人に

満たない団員数の所もあり、将来を見据えて、団員の意見、要望等を消防幹部会議の中で協議を進めている。

岡田 昭和30年には全国で2

00万人いた団員数も現在は74万人まで減少したが、団員の待遇改善、装備の充実が進み、本町でも、積載車がマニュアル車からオートマ車へ順次更新される計画であり、男女共同参画の立場から女性団員の方々も活動されている。私は、消防ラッパ隊への女性の加入が必要ではないかと思っている。なぜなら、吹奏楽経験者が圧倒的に女性の方が多いのが現実だからだ。

農業用、用排水路の大きな役割について

岡田 町民の方々も承知されているとおり、大雨等の災害時に用水路、排水路は大変重要な役割を持つているが、農家数の減少、高齢化により、維持管理が難しい状況にあるが町の考えは。

農林振興課 令和2年6月に同

僚議員から同様の質問を受けているが、答弁の内容に大きな変化はない。平成19年度から農地水環境保全対策が実施され、現在は多面的機能支事業として、現在28工区で非農家の方々と一体となった保全管理が行われている。



降り口がない深い排水路

岡田 農家数の減少、高齢化それに伴う人手不足は、どの工区でも同じであるが、各工区の地域性、問題は違う所がある。各工区の問題点を把握し、対応すべきと考える。

西小体育館前の駐車場の舗装が必要ではないか

岡田 西小体育館前の駐車場の整備計画は。

教育振興課 学校からの要望、保護者からの御意見を頂いていなかったことから、特に計画はしていない。

岡田 私は、地域住民、保護者からの強い要望があったから質問をしている。西小では教室が足りていない問題もある。早急な対応を望む。

教育振興課 各学校の状況等を見ながら、臨機応変に対応したい。



おかだ たけし
岡田 武志 議員

特集

第二回定例会

一般質問一覧

一般質問

新たな議会構成

総務建設常任委員会、厚生文教経済常任委員会及び議会運営委員会の各委員の任期満了に伴い、閉会中の5月1日付で選任を行った。また、6月定例会において広報特別委員の補充選任を行った。

(◎委員長 ○副委員長)

委員会・特別委員会名	委員長	副委員長
議会運営委員会	◎岡田 武志 ○金山 民幸	竹田農利人 谷口 一也 吉田 眞二
総務建設常任委員会	◎吉田 眞二 ○梶原 誠二	荒川 孝一 池田 秀晴 金山 民幸 早田 和彦
厚生文教経済常任委員会	◎竹田農利人 ○丸小野聖一	石松まゆ子 岡田 武志 高田 孝徳 谷口 一也
広報特別委員会	◎早田 和彦 ○谷口 一也	石松まゆ子 吉田 眞二 竹田農利人

6月10日、錦町誘地企業である木上において稼動している熊本錦グリーンパワーへ議員全員で赴き、木質バイオマス発電所の施設研修をおこなった。木材（この施設では独自のボイラ発電設備を使い、通常では利用できない部位をもチップ化し燃料として利用）を燃やして、その熱で電気を作る発電所である。又、化石燃料を使わないSDGs（持続可能な開発目標）の一種である再生可能エネルギーを使用している発電所にして注目されている施設である。敷地には貯木場、チップ工場、発電所（ボイラタービン発電設備）にあり、年間想定発電量143百万キロワット（一般家庭46百件分）を発電しているということであった。又、年間燃料として使用する木質チップは約3

研修報告

千トンで人吉球磨の森林、林業と産業と深い関わりがあり、今後、期待するものがあると感じた。

文責 荒川



【広報特別委員会】

委員長 早田 和彦 委員 石松まゆ子
副委員長 谷口 一也 委員 竹田農利人
吉田 眞二
議長 荒川 孝一

議会のうごき

4月

- 1日 全員協議会
- 6日 錦町消防団入退団式
- 8日 球磨中央高校入学式
第57回商工会青年部通常総会
- 9日 町内各小中学校入学式
- 10日 定例郡議長会議
広報特別委員会
- 11日 商工会青年部意見交換会
- 16日 広報特別委員会
例月出納検査（・18日）
- 24日 あさぎり町との意見交換会
広報特別委員会

5月

- 1日 全員協議会
- 10日 錦町職域対抗ゴルフ大会
- 11日 錦中学校体育大会
- 13日 ふるさと祭り実行委員会
- 14日 定例郡議長会議
例月出納検査（～16日）
- 16日 球磨郡町村監査委員連絡協議会定期総会
- 17日 錦町葉草生産部会総会
- 18日 分館対抗球技大会
- 19日 九州治水期成同盟連合会定期総会
人吉下球磨消防組合議会臨時会
- 20日 錦町商工会通常総会
- 21日 令和7年第3回臨時会
- 25日 西小学校運動会
- 27日 全国町村議会議長・副議長研修会（～28日）
戦没者並びに産業自治功労者慰霊祭
- 28日 人吉球磨広域行政組合議会臨時会
- 30日 錦町防災会議

6月

- 2日 議会運営委員会
全員協議会
- 3日 熊本県町村議会議長会臨時総会・議長研修会
- 6日 人吉下球磨消防組合議会消防庁舎建設に関する特別委員会
- 10日 議会定例会（～13日）
- 17日 例月出納検査（～19日）
被爆80周年核廃絶・平和行政に関する要請
- 23日 定例郡議長会議
- 26日 人吉地区防犯協会連合会評議員会
- 27日 錦まち観光協会総会